環境にやさしい次世代製品

環境報告

製品の素材製造・生産・お客様のご使用・廃棄にわたる製品の一生を通じて、環境に与える影響を小さくする活動に取り組んでいます

エコプロダクツ（環境に配慮した製品）

当社グループは、製品．サービスによる環境への負荷を低減するよう「環境配慮設計アセスメント」を実施し、従来製品より低消費電力・省資源などに優れた製品・サービスとなるものづくりを行っています。

また、お客様への製品・サービスの提供において、環境に配慮した製品を提案し、低炭素社会の実現に貢献するよう努めています。

2016年度の主なエコプロダクツの紹介

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

フルHDでの省電力化を実現

■ 屋外電動ドーム型ネットワークカメラ（ONVIF*1対応品）「HC-IP3050HD」

HC-IP3050HD

「HC-IP3050HD」は、監視カメラ市場のニーズである映像信号のデジタル化、フルHD（1920 × 1080）化に応えるため、電動ズームレンズ、電動雲台の機能に加え、同規格製品間の連携が簡単に可能なONVIF対応でフルHDの画像をライブ配信できる機能を備えた監視用カメラです。

デジタル映像処理により、既存のカメラと同じ容積で高解像度を実現し、電動雲台の節電技術により、LANケーブルでの電源供給についてPoE+*2（IEEE802.3at準拠）に対応できるまでに消費電力を削減しています。

従来のドーム型カメラ（HC-350: 2005年発売）に比べ、CO_2排出量を58%削減しています。

＊1 ONVIF … Open Network Video Interface Forumの略で、ネットワーク・ビデオ・プロダクトのインターフェースの規格標準化フォーラム、またはその標準規格

＊2 PoE+…… IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）で策定されたPoE（Power over Ethernet; LANケーブルを利用して電源を供給する技術）に関する規格

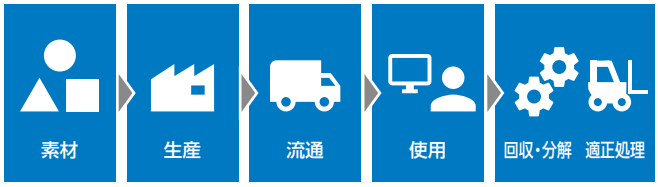
エコデザイン（環境に配慮した設計）

当社グループで2016年度から新たに導入した環境配慮設計は、国際規格IEC62430*に準拠し、自社の環境負荷低減に努めるだけでなく、お客様へ環境に配慮した製品を提供することで環境負荷の低減を図ることをめざしています。

これらの取り組みを進めるため、2つのアセスメントを製品の開発プロセスに導入しました。

「環境配慮設計アセスメント」で製品開発の目標である環境負荷低減につながる取り組みを評価し、「ライフサイクルアセスメント」では製品のライフサイクル全体に関わる項目を開発製品と従来製品の仕様比較を基に定量的に評価します。

その結果を活用し、環境に配慮した製品設計に努めています。



＊ IEC62430 … IEC（国際電気標準会議）で定められている電気・電子機器製品の環境配慮設計規格

当社グループのグリーンカーテン活動の概要

日立グループ夏季節電運動の一環として毎年活動しているグリーンカーテン活動について、当社グループの活動内容を紹介します。

No.	項　目	活動内容
1	栽培種類の多様化	2013年度までは、ゴーヤ、ヘチマ、アサガオを栽培し、2014年度以降は、それらに加えてシカクマメ、スネールフラワー等を栽培しました。
2	地域保育園への苗寄贈、環境教育の開催	富山地区において、2014年度から地域保育園への苗寄贈を行い、2015年度からは、環境教育としてグリーンカーテンの効果や植物の特徴をクイズ形式で説明しました。
3	自動散水システムの設置	2013年度からグリーンカーテンの水やりにタイマーとホースを用いた自動散水システムを設置し、水やりを行いました。
4	ゴーヤ無料配布、調理メニュー無料提供	収穫したゴーヤを従業員に無料配布し、食堂でゴーヤチャンプル等を無料提供しました。（毎年8月頃）

新たに栽培したスネールフラワー
かたつむりを思わせるユニークなつぼみ